

令和元年度施政方針（令和元年6月議会挨拶より）

本日ここに、令和元年第2回定例議会を招集致しましたところ、議員各位にはご多忙中にもかかわらず、ご出席いただき厚くお礼申し上げます。また、平素の町政全般にわたるご支援、ご協力に対し、深く謝意を表するものでございます。（中略）

さて、本年度の当初予算は骨格予算で編成されています。新たな政策的経費等につきましては、6月補正予算に計上しております。そこで、町の課題と解決への方向性及び補正予算の概要をご説明しながら、本年度の施政について述べさせていただきます。

5月臨時議会で述べさせていただいたとおり、私は教育・福祉・安心安全などの諸施策を通じて、「財政の健全化」「人口増」「魅力ある町づくり」の3課題に取り組んで参りたいと考えております。

「財政の健全化」につきましては、収入を増やして支出を減らす取り組みが求められています。収入増では、近鉄3駅の駅前活性化や町有地の有効活用などを考えています。また、支出減では、公共施設を総点検し、継続と廃止について確認するなどして整理していくことが必要だと考えています。もちろん、町民の理解を得ることは必要不可欠であり、これらを町民の皆様からご意見をいただくなどの過程を経た後に、無駄を省いて参りたいと考えています。

「人口増」と「魅力ある町づくり」は連動していると思います。馬見丘陵公園の観光力の向上と、それを生かした池部駅前の活性化に奈良県とともに取り組んでいきます。また、馬見丘陵公園に隣接する「認定こども園」は町の魅力のシンボルとして位置づけ、世代間の交流拠点としても活用していきます。教育面では、中学校にタブレット端末を導入して情報教育に力点を置き、英語が教科となる小学生には、夏休みを利用して体験型英語学習プログラムを取り入れるなど、特色と魅力ある教育に努めます。また、不毛田川の内水被害につきましては、奈良県の「平成緊急内水対策事業」により推し進めて参ります。なお、天理王寺先線につきましては、年度内に部分供用する予定です。

次に6月補正予算につきましては、ふるさとの日（夏）（冬）の開催費、UR都市機構と連携した「学生さんいっしょい事業」、そして、以前から北葛城郡で取り組んでいます「すむ・奈良・ほっかつ」事業に今年度も参画するなど、人口減少対策に取り組んでいきます。

安心安全に関しては、国や県の上位計画が改訂されたのを受け、特に浸水区域を見直した「防災マップ」を作成し水害に備えたいと思います。

教育関係費では、先ほど述べましたタブレット端末と体験型英語学習プログラムのほか、第一小学校のウッドデッキの改修や第二小学校と第三小学校の再編に伴う各種経費を計上しました。なお、町民プールにつきましては、本年度も昨年度に引き続き開場したいと考えています。

このほか、道路などの大字自治会の基盤整備のほか清掃工場の定時のメンテナンス工事についても所要の予算を計上しました。（中略）

財政の健全化は喫緊の課題であることは、十分認識しています。冒頭に述べました事柄につきましては、早急に計画にまとめ具体化する所存ではありますが、まず、私をはじめとする特別職の給料につ

きまして、今年度末まで20%の減額をするよう関係条例を提出しております。

令和元年度の町政運営におきましては、依然として厳しい課題と早急な対策が求められています。今後、勇気と決断をもって推し進めていく所存であります。

ここに重ねて、議員の皆様、そして町民の皆様の温かいご理解と一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。施政の方向性と招集のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。